

SSI 学会誌編集委員会 2016 年度第 3 回委員会 議事録

日時：2017 年 3 月 11 日（土）15:00～16:30

場所：東京大学情報学環会議室

参加者：北村順生、野田、遠藤、伊藤、岩井、吉田寛、河井、岡田勇、桜井、松下、小笠原（順不同、敬称略）

【審議事項】

1. 今後の英文誌編集長について（別紙 1）

- ・和文誌と同様に各号ごとに正・副編集長の 2 名体制とする。任期は 2 年で、1 年目に副編集長、2 年目に正編集用となる方式とし、ノウハウのスムーズな継承を図る。
- ・ Vol. 10（2017 年 9 月末発行予定）：（正）野田哲夫委員＋（副）小笠原盛浩委員
- ・ Vol. 11（2018 年 9 月末発行予定）：（正）小笠原盛浩委員＋（副）北村順生委員
- ・ Vol. 12（2019 年 9 月末発行予定）：（正）北村順生委員＋（副）未定

2. 今後の和文誌編集長、編集担当責任者について（別紙 1）

○編集長

- ・ 2016 年度（第 5 巻 2 号～3 号）：（正）岡田勇委員＋（副）伊藤賢一委員
- ・ 2017 年度（第 6 巻 1 号～3 号）：（正）伊藤賢一委員＋（副）河井延晃委員
- ・ 2018 年度（第 7 巻 1 号～3 号）：（正）河井延晃委員＋（副）未定

○編集担当責任者

- ・ 第 5 巻 3 号（2017 年 3 月末発行予定）：松下慶太委員
- ・ 第 6 巻 1 号（2017 年 6 月末発行予定）：山本仁志委員
- ・ 第 6 巻 2 号（2017 年 12 月末発行予定）：大國充彦委員（北村順生委員長が打診する）
- ・ 第 6 巻 3 号（2018 年 3 月末発行予定）：新任の編集委員に依頼する予定

3. 今後の特集企画について（別紙 1）

- ・編集委員が各自の専門に応じて特集テーマ候補を提案、共有してプールしておき、必要な時に企画を進められる状態にしておく。具体的な特集テーマ候補の共有方法については、今後検討する。
- ・特集テーマとして、話題性のあるトピックも含めて検討していく。今後のテーマ案として次のようなものが出た。
 - 「ブロックチェーン」（岩井委員）
 - 「オーガナイジング」（河井委員）
- ・特集論文は査読者 1 名による査読論文として扱われること、また特集論文の査読は基本的に掲載を前提にしつつ、論文の改善を主眼に行うこととすることが確認された。

4. 投稿者からの問い合わせについて（別紙 4）

- ・投稿者から、査読コメントに関する反発含みの質問があったため、編集委員会としての回答を審議の上、了承した。
- ・編集委員会からの回答のポイントは以下の3点。
 - a) 査読結果は原則としてそのまま投稿者に通知する。
 - b) 極めて問題がある場合以外は、査読者に対して査読結果や表現の修正を求めない。
 - c) 今回の査読コメントは極めて問題があるとの判断には至らなかった。

5. その他

- ・学会事務業務の委託に関わるセット料金の関係で、和文誌第6巻1号から印刷会社を英文誌と同じ勝美印刷に統一する。(その際、別刷の費用が高額にならないか確認する。現行の費用は1論文100部で2万円)
- ・2016年度横幹連合コンファレンス報告(担当:遠藤委員)を、原稿ができ次第掲載する。
- ・各号の編集担当責任者は、各支部や各委員会の活動報告記事を督促することとする。
- ・学会HPの論文査読状況ページは更新が途絶えて長い。査読がスムーズに行われないような誤解を与えかねないため、当該ページの公開を休止する。

【報告事項】

1. 学会誌発行状況

○英文誌 Vol. 10 (2017年9月末発行予定) (編集長:野田委員):

- ・4本の投稿があり、査読担当委員も決定済み。
(後藤委員、松本委員、櫻井委員、岡田委員)

○和文誌第5巻2号(編集担当責任者:河井委員):

- ・発行済

○和文誌第5巻3号(編集担当責任者:松下委員):

- ・書評2本+研究活動報告2件予定
- ・原著論文1本が修正待ちだが、修正が間に合わない場合は論文なしで刊行する。

2. 投稿論文審査状況(別紙2)

- ・3月の論文投稿数が例年比較で倍増した。投稿者資格の会員縛りが解消されたためと思われる。
- ・投稿増加に伴い審査担当委員の不足が深刻化しており、編集委員の体制拡充が不可欠である。若手研究者(助教を含む)を中心に、候補者を北村委員長まで推薦する。

3. 編集メモの改訂について(別紙5)

- ・後日、MLにて検討する。

4. その他

- ・とくになし。

以上